

**製品名: CLIP3 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab09046**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	60kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CLIP3
別名	CLIP3; CLIPR59; CAP-Gly domain-containing linker protein 3; Cytoplasmic linker protein 170-related 59 kDa protein; CLIP-170-related 59 kDa protein; CLIPR-59
遺伝子 ID	25999.0
SwissProt ID	Q96DZ5
免疫原	抗血清はヒト CLIP3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 361-410

**背景**

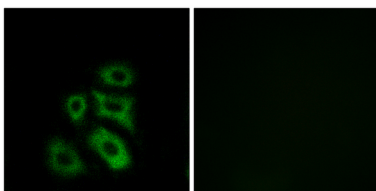
この遺伝子は、細胞質リンカータンパク質 170 ファミリーのメンバーをコードします。このタンパク質ファミリーのメンバーは、細

胞骨格関連タンパク質のグリシンリッチドメインを含み、微小管と細胞小器官との相互作用を媒介します。コードされているタンパク質は、チューブリンと脂質ラフトガングリオシド GD3 との会合を促進することで、T細胞のアポトーシスに関与します。また、コードされているタンパク質は、リン酸化タンパク質キナーゼ B の膜局在を媒介する足場タンパク質としても機能します。この遺伝子には、選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが観察されています。[RefSeq 提供、2010年12月],domain:微小管への会合は、ANK リピートとゴルジ体局在領域 (GoLD) によって阻害されます。function:細胞質リンカータンパク質として機能します。TGN-エンドソームダイナミクスに関与する。その他:N 末端側半分はゴルジ体への適切な標的化には不要であるが、GoLD 領域は必要である。類似性:2つの CAP-Gly ドメインを含む。類似性:3つの ANK リピートを含む。細胞内局在:ゴルジ体スタックおよびゴルジ体槽に隣接した管状小胞要素に局在する。サブユニット:ホモ二量体。

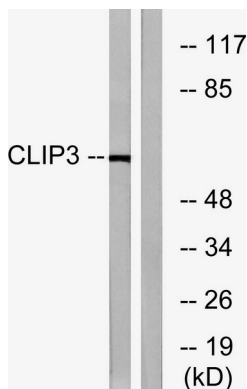
## 研究分野

微小管ダイナミクスの制御

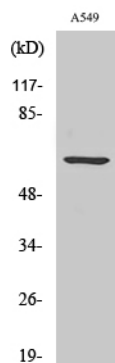
## 画像データ



CLIP3 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。



CLIP3 抗体を用いた A549 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



CLIP3 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析